

技術的条件集別表 27.4

IP通信網収容局ルータ接続インタフェース仕様

(IPv6 機能部-1000BASE-SXインタフェース)

注:本別表については、NTT西日本のみの適用です。

[参照規格一覧]

- JIS C5973 (F04 形単心光ファイバコネクタ 1998.5.20)
- JIS C6832 (石英系マルチモード光ファイバ素線 1995)
- IEEE 802.1Q (IEEE Standards for Local and Metropolitan Area Networks: Virtual Bridged Local Area Networks 1998)
- IEEE Std 802.3 (Information technology-Telecommunications and information exchange between systems-Local and metropolitan area networks-Specific requirements-Part3:Carrier sense multiple access with collision detection(CSMA/CD) access method and physical layer specifications 1998 Edition)

1 . 加入者側網終端装置を用いて接続する場合

1 . 1 物理層（レイヤ1）仕様

IEEE Std 802.3 Clause36 及び Clause 38 準拠

コネクタ仕様 JIS C5973 準拠

光ケーブル仕様 JIS C6832 SGI-62.5/125 準拠

1 . 2 データリンク層（レイヤ2）仕様

1 . 2 . 1 1000BASE-SX 仕様

IEEE Std 802.3 Clause4 準拠

1 . 2 . 1 . 1 フレーム構成

IEEE Std 802.3 Clause3

1 . 2 . 2 VLAN 仕様

IEEE 802.1Q 準拠

ただし、Tag header としては Ethernet-encoded tag header を使用し、TCI における user_priority の値は0とする。

1 . 3 . IP 通信網収容装置における同時に収容可能なセッション数の上限値について

IP 通信網収容装置における同時に収容可能なセッション数の上限値については、当社にて指定する。

1 . 4 . 設定可能な VLAN タグにおける VID 数の上限値及び VID 値について

設定可能な VLAN タグにおける VID 数の上限値及び VID 値については、IP 通信網収容装置毎に当社にて指定する。

1 . 5 . 各 VLAN へ同時に収容可能なセッション数について

各 VLAN へ同時に収容可能なセッション数については、当社と協定事業者間で別途協議の上、IP 通信網収容装置毎に決定する。

2 . 加入者側網終端装置を用いずに接続する場合 削除